

# 安全だより

令和7年度 第1号  
発行 令和7年5月

本部事務局 Tel079-226-4100

香寺連絡所 Tel079-232-7600

夢前連絡所 Tel079-336-1600

URL : <https://www.himeji-sjc.or.jp/>

安富連絡所 Tel0790-64-8525

家島連絡所 Tel079-325-0311

## ☆ 無事故日数について

事故防止の意識向上を図るため、傷害事故の無事故日数 90 日以上を目指します！

事故を減らすには、会員の皆様の一人一人の安全に対する意識が重要です。引き続き、安全対策に注意を払われるよう、よろしくお願いいたします。

起 算 日 令和7年4月18日  
無事故日数 13日（令和7年5月1日現在）

また、令和6年度中の最長無事故日数は、令和6年9月6日から10月28日の53日間でした。

## ☆ 熱中症予防について

今夏も暑くなると予想されます。熱中症に対する予防をお願いします。

### ☆ 注意点 ☆

- ・ 十分な睡眠と栄養バランスの良い食事を心掛け、必ず朝食をとる。
- ・ 疲労回復効果のあるビタミンB1を多く含む食品〔豚肉、豆腐等の豆類、玄米など〕をとる。
- ・ 熱中症対策になるカリウム、クエン酸を多く含む食品〔スイカ、キウイ、バナナ、グレープフルーツ、赤ピーマン、ほうれん草、納豆など〕をとる。（フルーツ類は水分補給にもなります。）
- ・ こまめに水分と塩分をとる。
- ・ 熱中症対策グッズを活用する。

バランスのよい食事で  
体調をととのえよう



のどがかわいてなくても



水分補給を！



## ☆ 令和6年度 事故発生状況について

令和6年度は自転車での事故が多発し、他方、従来から多発していた草刈機使用中の石跳ね事故が減少しました。引き続き、事故減少を目指しましょう。

### 【傷害事故】

計34件発生し、令和5年度の計31件から増加しました。

34件中14件が交通事故で最多であり、内10件が自転車での事故でした。また、内9件でヘルメットを着用していませんでした。

転倒事故が7件と二番目に多く発生しました。

### 【賠償事故】

計12件発生し、令和5年度の計24件から大きく減少しました。

12件中7件が草刈中の事故であるものの、石跳ね事故が4件となっており、令和5年度の9件から減少しています。

植木剪定中の事故が3件と二番目に多く発生しました。

## ☆ 事故の注意点について

特に発生件数の多い事故について、取り上げます。

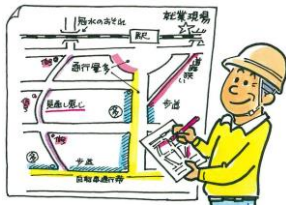
### 自転車事故について

傷害事故では、就業と帰宅の途上及び現場間の移動での交通事故において、特に自転車での事故が多発しています。

注意点を掲載しましたので、安全対策をお願いします。

### ☆ 注意点 ☆

- ・ 交通法規を順守する。
- ・ ヘルメットを必ず着用する。
- ・ 右左折の際は後方も確認する。
- ・ 自転車のカゴに荷物を積む際はカバーで覆う。
- ・ 前走者との車間距離を空ける。
- ・ 雨天では路面の状態に注意して運転する。
- ・ 雨合羽着用時でもヘルメット着用を優先する。
- ・ 早めにライトを点灯し、反射材等を着用する。
- ・ 普段からより安全と考えられるルートを選ぶ。
- ・ 天候によって出かけることが危険と感じる場合は、無理に就業しない。



### 転倒事故について

傷害事故において、交通事故の次に転倒事故が多く発生しています。

注意点を掲載しましたので、安全対策をお願いします。

#### ☆ 注意点 ☆

- ・ 歩行時には焦って歩かない。
- ・ 進行方向の足元の状況に注意する。
- ・ 冬季には、特に地面の凍結に注意する。
- ・ 何らかの物が進行方向の床上に落ちている場合、その上を歩かないようにする。



### 草刈中の事故について

賠償事故において、草刈機を使用中の石跳ね事故が多発しています。(但し、令和5年度と比べて減少しています。)

注意点を掲載しましたので、安全対策をお願いします。

#### ☆ 注意点 ☆

- ・ 作業箇所から20m以内に自動車、建物等がある場合は、防護ネットを刈払機から1m以内に設置する。また、飛散物を防ぐことができる方向に設置する。
- ・ 作業中の会員相互の距離を5m以上(出来れば10m以上)開ける。
- ・ ナイロンコードカッターは原則として使用禁止とする。

『全シ協 安全就業スローガン』  
安全は 無理せず 焦らず 油断せず



### 植木剪定中の事故について

賠償事故において、草刈機を使用中の石跳ね事故の次に植木剪定中の事故が多く発生しています。

注意点を掲載しましたので、安全対策をお願いします。

#### 植木剪定中の事故の事例

事例1 木の枝を電動鋸で切断したところ、枝が落下して塀瓦に衝突、瓦を破損させた。

事例2 他の会員が枝打中の枝を支えていたが、見込み以上に重すぎて支えきれず、枝が落下して門扉上部の置石に激突し、破損させた。

事例3 作業前に近隣の駐車スペースに自動車を置こうとした際、積載中の脚立がガレージの屋根にあたり、屋根を破損させた。

#### ☆ 注意点 ☆

- ・ 樹枝を切り落とす際は、樹下の安全確認を行う。
- ・ 樹下に破損させそうな物がある場合、切り落とす前に枝を幹にロープ等で括り付けるなど、周囲の物に衝突させないようにする。
- ・ 駐車箇所に屋根がある場合、駐車前に屋根と積載物の高さを確認し、接触を避ける。

